

日本生命保険相互会社 東館

快適な内部環境と省エネ効果を両立した本部事務機能ビル

所在地	大阪府中央区今橋 3 丁目					
建築主	日本生命保険相互会社					
設計者	株式会社日建設計					
用途	事務所					
敷地面積	6,162.41 m ²					
建築面積 (建ぺい率)	3,903.14 m ² (633.38 %)					
延べ面積 (容積率)	60,849.95 m ² (861.43 %)					
構造	鉄骨造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート造					
階数	地上	15 階	/ 地下 2 階			
CASBEE ランク	S	BEE 値	3.7			
大阪市の 重点評価	CO2 削減	4.0	省エネ 対策	4.0	みどり・ヒート アイランド対策	4.0

全景写真



立地、周辺環境

地下鉄御堂筋線淀屋橋駅直結の日本生命本館に隣接し、公共交通の利便性に優れた好立地です。周囲に日本生命本店ビル群が建ち並び、東館はニッセイ村の事務機能の本丸という位置づけとなります。

総合的なコンセプト

日本生命保険相互会社は 1889 年に創業し、1902 年の本店旧本館の完成以来、淀屋橋にて社業を発展させてきました。淀屋橋地区に分散する各ビルの事務部門を最大限集約し、業務の効率化を図るため、本店ビル群の要の一つである東館の建替えを行いました。事務室には新開発 LED 照明と放射空調システムなどの新システムを採用し、執務環境の向上を図るとともに省エネを実現することを目指しました。また敷地内の大規模な緑化と併せて、懐徳堂や適塾などの歴史的背景を表現するランドスケープを計画し、日本生命の歴史・伝統・文化の象徴である「本館」と共に、淀屋橋地区の景観形成のために風格ある街並みを創り出します。

建物断面構成図

